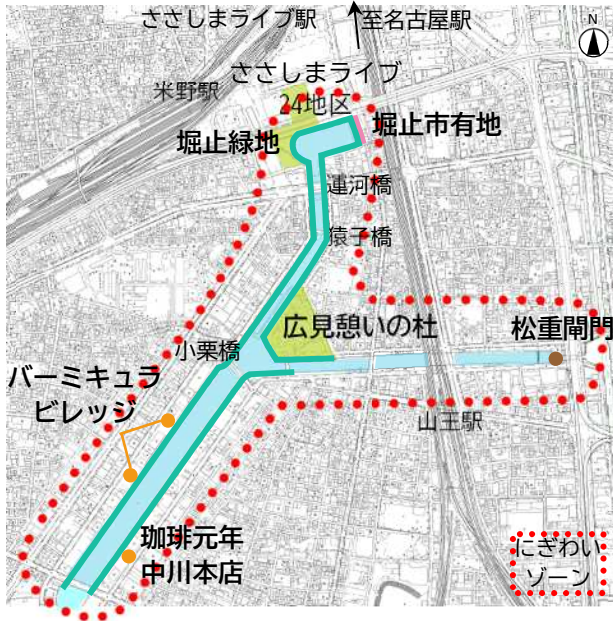


中川運河の再生

リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりと連携し、
運河の魅力と回遊性を高めます！

【にぎわいゾーン】

運河の歴史や文化・芸術を楽しむ市民活動の継続的な実施を通じ、都心地域に
集まる人びとが訪れたいくなるようなエリアの形成を目指す。
(令和5年10月 中川運河再生計画更新版 策定)



堀止地区での拠点づくり

市有地を活用し、水上交通と連携したにぎわい施設の民間事業者の公募を行い、令和5年9月に事業者を決定。大屋根やホテル、広場等を整備し、令和8年3月までに開業予定。



松重閘門の保存・活用

かつて堀川との船での行き来に使用されていた松重閘門。昭和43年に閉鎖されたが、市民の強い要望を受けて水門塔を保存しており、夜間はライトアップを行っている。現在、閘門の利活用に向け検討を行っている。



市民交流・創造活動への支援

中川運河を舞台に様々な人が多彩なアートプログラムを展開。アートへの助成事業「ARToC10」を実施し、地域の人々がアートの創作活動に参加するなど、つながりも生まれ、継続的な事業展開を促進。

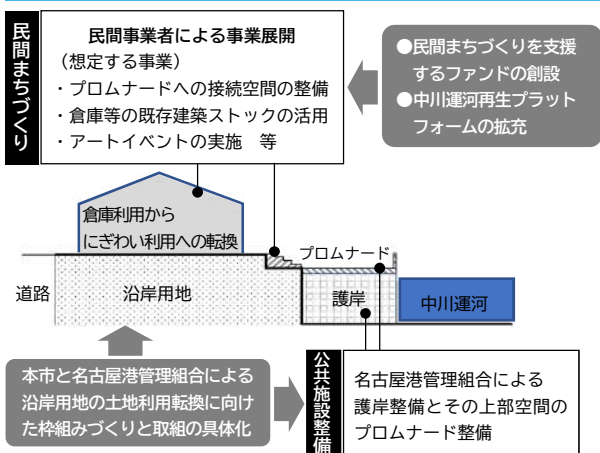


にぎわい施設の誘導

中川運河の沿岸用地を活用し、にぎわい施設を誘導。水辺にレストランや喫茶店などが徐々に立地し、運河を眺めながらゆったりと過ごすことができる。



官民連携まちづくりの将来イメージ



緑地・プロムナードの整備

水辺への緑地の整備や水環境の改善を実施。親水性や回遊性を高めるため、にぎわい施設や緑地をつなぐプロムナード(遊歩道)・アクセス整備に着手。



【今後の動き】

中川運河再生計画更新版に基づき、にぎわい施設の誘導を図るための具体的な方策の整理や、水辺を活かした民間まちづくりに対する新たな支援制度の構築・運用を行う。

担 当 名古屋市 住宅都市局 まちづくり企画部 名港開発振興課

市webサイト <https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-11-0-0-0-0-0-0.html>



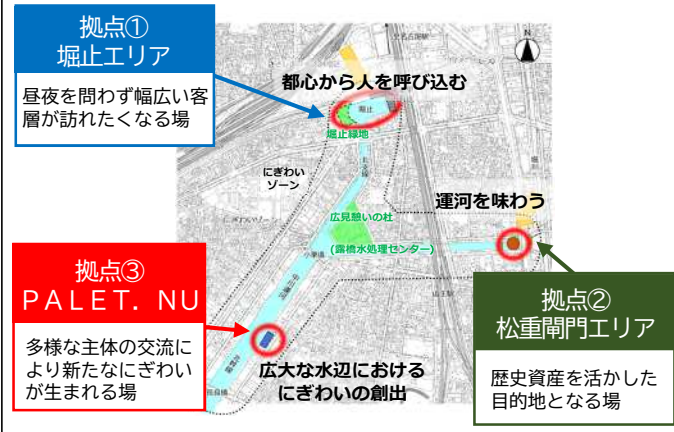
中川運河の再生

R6年度の取り組み

【3ヶ所の拠点形成に向けた社会実験】

1. 3ヶ所の拠点形成

運河再生の核となる拠点形成に向けて、3ヶ所で**社会実験**を実施し、**官民連携まちづくり**へつなげていく



3. 松重閘門エリア

中川運河－堀川の通船機能を果たしてきた**松重閘門**(市文化財)や**松重ポンプ所**など歴史資産を活かした目的地となる場



令和6年度に**社会実験**を実施
(ガイドツアー/クルーズ/飲食の**イベント**)

- 【目的】 認知度向上/機運醸成
- 【結果】 ・参加者 **約900人/9割が満足**「楽しく学べた」
・堀止－松重クルーズ(有料) 乗船率 **約76%** (550人)
- 【効果】 ・地域との**信頼関係の構築**
「社会実験は評価できる」「継続してほしい」
・民間事業者等から**視察等の申入れ**(参入可能性の検討)
- ➔ **民間活用も含めた松重閘門エリアの賑わい創出に向けて取組を推進**

2. 堀止エリア

運河の玄関口として、都心から人を呼び込み、昼夜問わず**幅広い客層**が訪れたいくなる場

- 【代表法人】 名古屋ステーション開発(株)
- 【構 成 員】 中部土木株式会社
(有)マル・アーキテクチャ
- 【事業期間】 30年



【堀止緑地の高質化】

➔ **令和8年春開業を目指して工事着手**

みなと緑地PPPの活用を視野に入れたにぎわい創出を検討し、幅広い客層が訪れる拠点を整備

令和6年度に**社会実験**を実施
(イルミネーション等による**にぎわい創出**)



4. PALET.NU

賑わう場や地域活動が継続的に発展する拠点の確保

多様な主体が交流し、**運河の賑わい**を創出する拠点の形成を推進



令和6年度に**社会実験**を実施
(地域等と賑わいを創出する**暫定拠点の整備**)

- 【目的】 拠点形成に必要な要件等の整理/機運醸成
- 【結果】 来訪者 **約1,000人**(稼働2か月) / 施設利用率 **約9割**
- 【効果】 ・拠点活動の実施を通じて**地域内外の交流が活性化**
・地域から**継続的に賑わう場**として期待
・沿線企業からの協賛・協力など**地域一体の機運が向上**
・エリア内外からの参画により**活動が拡大・発展**

【市民団体によるにぎわい活動の促進等】

